



大地の恵みと伝統・文化にはぐくまれた郷土愛にあふれる、いきいきと暮らせるまち

# みなみ風



発行/新潟市南区役所  
編集/南区役所地域総務課  
〒950-1292 南区白根1235番地  
電話 025(373)1000(代表)  
FAX 025(373)2385

南区ホームページ <https://www.city.niigata.lg.jp/minami/> Eメール [chiikisomu.s@city.niigata.lg.jp](mailto:chiikisomu.s@city.niigata.lg.jp) (南区役所地域総務課)

南区の人口(令和2年12月末現在、カッコ内は前月比): 44,134人(-67) 男: 21,451人(-31) 女: 22,683人(-36) 世帯数 16,344世帯(+17) (住民基本台帳による)

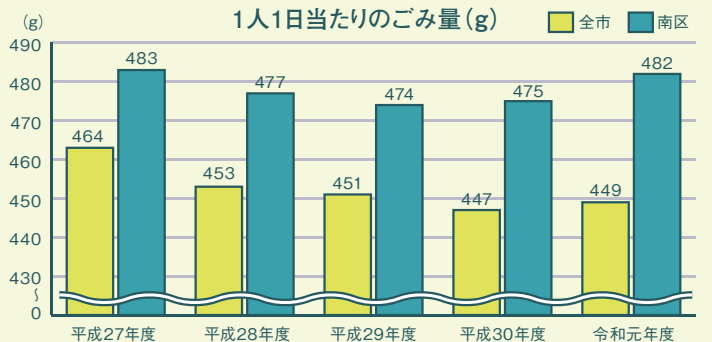
## 環境のためにごみダイエットを！ できることから始めよう



私たちが生活していると、必ず出てしまうのが「ごみ」。私たちのちょっとした心掛けで、減量や資源化することができます。限りある資源と美しい地球環境を後世に残すために何ができるか「ごみ」について考えてみましょう。問い合わせ 区民生活課 ☎372-6145

### 南区のごみ事情

南区のごみと資源の収集量は10,092t(令和元年度)です。これは1日に換算すると27.6tでごみ収集車(積載量約2t)約14台分に当たります。1人当たりのごみの排出量は1日482gで全市平均と比べても、多い傾向が続いています。



### なぜごみを減らす必要があるの？

#### 1 環境問題の身近な課題

紙の原料となる木材やプラスチック製品の原料となる石油など、私たちの身の回りには、もともと天然の資源を使って作られています。大切に使用しなければ、将来資源が足りなくなるかもしれません。また、ごみを燃やしたときに発生する二酸化炭素は地球温暖化の原因にもなっています。

#### 2 焼却施設や埋立地を長く使える

ごみを焼却している施設には寿命があります。たくさんのごみを燃やし続けることは老朽化を早め、故障の原因になります。また、燃やさないごみなどを埋め立てる処分地にも限りがあります。

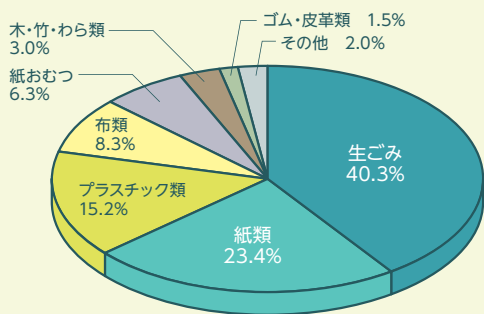
#### 3 ごみ処理にはコストがかかる

ごみを処理することにも経費がかかります。ごみを減らすことで、コスト削減につながります。

### ごみを減らすには

「燃やすごみ」の内訳で上位を占めているのは「生ごみ」と「紙類」です。これらは私たち一人一人の取り組みによって減らすことができます。

燃やすごみの内訳(新潟市)(平成30年度)



#### 生ごみを減らそう

##### ▶食品ロスを減らそう(食べ残し・手付かずの食品・調理くず)

食材を買い過ぎない、食べられる量を調理するなど食品廃棄を減らすように心掛けましょう。



詳しくはこちら

##### ▶「生ごみのひとしぼり運動」～実施中～

生ごみを水切りネットに入れ、絞る、天日干しするなど軽く小さくすることができます。



##### ▶生ごみの堆肥化に挑戦してみよう

コンポストなどを活用し、生ごみを堆肥にします。野菜や花の肥料に利用しましょう。市では家庭用生ごみ処理器購入費の助成を行っています。



詳しくはこちら

#### 紙類を減らそう

##### ▶リサイクルを徹底しよう

「燃やすごみ」に出されている紙類の約半分が「雑がみ」としてリサイクルできます。食品などの紙箱、シュレッダー紙、トイレトーパーの芯などは「雑がみ」として「古紙類」の日に出すことができます。



詳しくはこちら

### なぜ分別が必要なの？

分別することで「ごみ」として捨てていたものを「資源」として活用でき、ごみを減量することができます。市では「10種13分別」によるリサイクルの推進を行っています。



#### 10種13分別

ごみ	資源
燃やすごみ 燃やさないごみ 粗大ごみ	プラマーク容器包装 ペットボトル PET 飲食用・化粧品びん 特定5品目 乾電池類、蛍光灯、水銀体温計、ライター、スプレー缶類
	飲食用缶 枝葉・草 古紙類(4品目) 新聞 雑誌・雑がみ 段ボール 紙パック

### 収集業者からのお願い！正しいルールで出しましょう

#### ○事業系のごみを捨てていませんか？

ごみ集積場は「家庭系のごみ」専用です。事業者の出すごみ(農業を営む人が農地で剪定した枝、伐採した木や草も同様)は事業系廃棄物処理業者やリサイクル業者に収集・処理を依頼してください。



詳しくはこちら

#### ○びんの回収コンテナにさまざまなものが入っており困っています

- 飲食用・化粧品以外のびんやガラス製品は「燃やさないごみ」に出す
- ポリ袋や紙袋、段ボールに入れたまま出さない
- キャップやふたは適切に分別する。プラスチック製は「プラマーク容器包装」(汚れが取れない場合は「燃やすごみ」)、金属製は「燃やさないごみ」に出す

### ごみ集積場は地域の持ち物です

- ごみ集積場の維持管理や清掃は自治会・町内会など地域の皆さんや共同住宅などの所有者・管理者が行っています。
- 必ず決められたごみ集積場を利用しましょう。
- 雪が降る季節は、ごみ集積場の除雪も地域で行いましょう。
- 引っ越しや家の整理などで、一時的に多量にごみを出す場合は、処理施設に搬入しましょう。自分で運搬できない場合は、収集運搬業者へ依頼しましょう。



### 段ボールコンポストを販売しています

家庭で手軽に生ごみを堆肥化できる段ボールコンポスト「サイチョウのマジックダンボール」を販売しています。

#### 販売品目・価格

- 段ボールコンポストセット 500円(段ボール箱・基材・内袋・説明書)
  - 段ボールコンポスト用基材 400円
- 購入対象者 市内に住所がある人  
※南区在住の人には、「移植ごて」と「プランター」を特典としてプレゼントします





### 定例日健康相談(予約制)

回 1月19日、2月16日(火)  
受け付け 午前9時～11時半  
場 南区役所  
内容 健康相談(禁煙相談も可)  
持ち物 直近の健康診断の結果(なくても相談可) 健康福祉課 ☎372-6385

### はじめての離乳食(予約制)

回 2月4日(木) 受け付け 午後1時45分～2時 白根健康福祉センター  
内容 離乳食の進め方(講話は1時間程度)  
対象 生後4～5カ月の赤ちゃんの保育者 先着10人  
持ち物 母子健康手帳、バスタオル  
回 1月20日(水)～2月2日(火)市役所コールセンター ☎243-4894

### ステップ離乳食(予約制)

回 2月16日(火)午後1時45分～2時 白根健康福祉センター  
内容 離乳食の2回食・3回食の進め方と試食(講話は1時間程度)  
対象 生後6カ月以降で2回食・3回食に進もうとしている赤ちゃんの保育者 先着10人 持ち物 母子健康手帳、らくらく離乳食ガイドブック(なくても可)  
回 1月20日(水)～2月14日(日)市役所コールセンター ☎243-4894

### 育児相談会(予約制)

開催時間 ①9:30②9:50③10:10 ④10:30⑤10:50

内容 身体計測、保健師・助産師・栄養士による相談  
対象 乳幼児の保育者  
持ち物 母子健康手帳、バスタオル  
回 1月20日(水)から各相談日前日までに健康福祉課 ☎372-6375  
■月湯健康センター  
回 1月22日(金) 定員 各時間2人  
■味方健康センター  
回 1月28日、2月25日(木) 定員 各時間2人  
■白根健康福祉センター  
回 2月4日(木) 定員 各時間4人

### 妊婦歯科健診

回 2月24日(水)  
場 白根健康福祉センター  
対象 先着25人  
持ち物 母子健康手帳、妊婦歯科健診受診票  
回 1月20日(水)から健康福祉課 ☎372-6375

### フッ化物塗布(予約制)

回 1月26日(火) 受け付け 午後1時半～2時半(20分区分り)  
場 白根健康福祉センター  
内容 歯科健診、フッ化物塗布  
対象 4歳未満児 各時間先着11人 料 1,020円  
回 1月24日(日)までに市役所コールセンター ☎243-4894

### かむかむスマイル食育講座

※上記フッ化物塗布会場で同時実施  
受け付け 午後1時半～2時半  
内容 栄養士による幼児期の食事についての個別相談 当日直接会場へ

### その他健診

対象の人には個別に案内を送ります。  
●1歳誕生歯科健診 2月3日(水)  
※健診後に「ブックスタート(絵本のプレゼント)」を実施  
●1歳6カ月児健診 2月10日(水)  
●3歳児健診 2月12日(金)



## 健康応援通信⑩ 自殺を防ぐゲートキーパー

新潟市の自殺者数は平成10年以降200人を超えて推移していましたが、近年は減少傾向です。性別で比較すると男性は女性と比べて約2倍で、特に40～60歳代男性が全体の30%以上を占めています。50歳代の男性の自殺は経済動向にも影響され、企業倒産件数が多い時期に増加することが確認されています。

### 命を守る「ゲートキーパー」を知っていますか?

心理・社会的問題や生活上の問題、健康上の問題など自殺の危険を抱えている人に気づき、適切に接する人がゲートキーパーです。特別な資格はありません。  
○地域のかかりつけの医師、保健師 ○行政や関係機関などの相談窓口  
○民生委員・児童委員 ○家族や同僚  
支援を必要とする人の周囲にいる人たちが、それぞれの立場や職業による役割を持っています。話をよく聞き、一緒に考えてくれるゲートキーパーがいることは、悩んでいる人の孤立を防ぎ、安心を与えます。

### 【ゲートキーパーの心得】

- 相手と関わるための心の準備をする
  - 温かみのある対応を心掛ける
  - 真剣に聴いているという姿勢を相手に伝える
  - 相手の話を否定せず、しっかりと聴く
  - 心配していることを伝える
  - 分かりやすく、ゆっくりと話をする
  - 一緒に考えることも支援
  - 準備やスキルアップも大切に
  - 相談を受けて困ったときのつなぎ先(相談窓口など)を知っておく
  - ゲートキーパー自身の健康管理、悩み相談も大切に
- まずは声を掛けることから始めてみませんか。



### 【相談窓口】

新潟県こころの相談ダイヤル ☎0570-783-025  
新潟市こころの健康センター ☎232-5560

場 健康福祉課 ☎372-6375、372-6395



## 第9回 南区自治協議会(概要)

内容 令和3年度特色ある区づくり予算(自治協議会提案事業)ほか  
※会議内容は、区ホームページや地域生活センターなど区内の公共施設で閲覧可能

【次回の自治協議会】 回 1月27日(水)午後2時半から 場 南区役所 傍聴 定員10人 場 地域総務課 ☎372-6605



## 南区自治協議会の公募委員を募集します 南区のまちづくりに参加しませんか

### ●南区自治協議会とは

各地域コミュニティ協議会や公共団体などからの選出者、有識者、公募委員など30人で構成されています。全体会のほか、3つの常任部会を設置し、地域の課題解決に向けた話し合いや企画事業の実施を行っています。

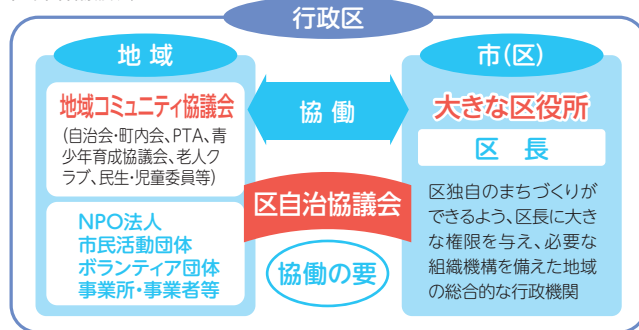
### ●主な役割


- ・区の地域課題のうち、市長や市の機関から諮問されたものや区自治協議会が必要と認めるものを審議し、意見を述べる
- ・地域の重要な計画など、条例で定める区自治協議会の意見を聴かなければならない事項を審議し意見を述べる
- ・区民などと市の「協働の要」として、さまざまな意見の取りまとめや調整を行い、地域課題の解決および情報の共有に努める

●会議開催頻度 毎月定例で行う会議のほか、区自治協議会に設置する部会を開催します。(会場は南区役所の予定)

●委員報酬 日額3,000円

区自治協議会イメージ



募集人数	2人	任期	令和3年4月1日～令和5年3月31日
応募資格	令和3年4月1日現在、区内に住所があり、満18歳以上で、本市の他の附属機関等の委員、市議会議員、市の職員でない人。 1任期2年で、1回に限り再応募することができます。		
応募方法	①住所、氏名、性別、電話番号、生年月日を記載 ②テーマ作文(800字以上1,200字以内) ※以下の3つからテーマを1つ選択 ・「私が自治協議会委員として取り組みたいこと」 ・「南区に対する思いと私のできること」 ・「私にとって暮らし続けたい南区とは」 ③活動歴(所定の様式で提出。地域総務課窓口やホームページで配布) 上記①～③を下記応募先へ直接持参、郵送、FAX、メールのいずれかで。		
応募締切	2月17日(水)午後5時半(必着)		
選考方法	南区自治協議会委員で構成する「委員推薦会議」で選考。3月上旬に結果を通知します。		
応募先・問い合わせ	〒950-1292(住所記載不要) 南区役所地域総務課 ☎372-6605 FAX373-2385 メール 		

《広告欄》

健康・医療



**在宅医療・介護の区民公開講座** ♣

回 2月7日(日)午前10時~11時半 場 白根学習館  
 内容 講演「コロナ禍で自らの生命(いのち)と健康(くらし)を衛(まもる)ための『新しい生活様式』とは?」 講師 日本福祉大学 名誉教授 牧野忠康氏  
 内容 会場を受講を希望する人 先着200人  
 回 1月23日(土)~2月4日(木)に市役所コールセンター ☎243-4894  
 場 健康福祉課 ☎372-6375  
 ※オンラインでも受講可(希望する人は同課へ連絡してください)

健康・医療



**ウォーキング講座** ♣  
**参加者募集**

運動不足になりがちなこの時季に健康への初めの一步を踏み出してみませんか。  
 回 2月18日・25日、3月11日(木) 全3回 午後1時半~3時半  
 場 白根健康福祉センター 内容 15人※応募多数の場合は初めての人を優先し抽選  
 持ち物 飲み物、運動靴、筆記用具  
 回 1月18日(月)~2月10日(水)に健康福祉課 ☎372-6385

子育て



**子育てオーエンジャー☆みなみ**

「子育てオーエンジャー☆みなみ」は子育て広場を運営する子育て支援リーダーの集まりです。南区内の児童センター・児童館、子育て支援センターなどで活動しています。お子さんと一緒にリラックスしませんか。  
 ●ほっぺちゃんひろば  
 回 2月5日(金) 午後2時~同30分 場 子育て支援センター白根つくし園  
 内容 ベビーヨガ  
 持ち物 ヨガマット※持っていない人は申込時に申し出てください  
 回 1月24日(木)までに同館 ☎372-3525

活動紹介

**12月の「南区の美りをいただく日」**

**古川保育園での活動**

11月に年長児がレンコン畑へ遠足に出掛けました。そこで教えてもらったことや体験したことをクイズにし、小さいクラスのみんなに答えてもらいました。「レンコンはどこで育てでしょう?」というクイズの「泥の中」という答えに「え~!!」と驚く子どもたち。また、収穫したばかりのつながったレンコンを見て「なが~い!」「赤ちゃんがいっぱいくっついている。」と興味津々。普段はレンコンが苦手な子どもたちも給食で食べるのを楽しみにし「食べられた」「おいしい」と笑顔で味わっていました。



**お知らせ**

**市民の情報掲示板**

南区役所 ☎373-1000(代)  
 味方・月漏出張所へもつながります

※区役所関係の問い合わせ先は、各係の直通番号です。時間外および閉庁時は代表電話にご連絡ください。

**健康・福祉**

**献血のお知らせ**

回 2月3日(水)午後2時15分~4時  
 場 南区役所  
 持ち物 献血カードまたは献血手帳  
 ※初めての人は運転免許証など本人確認のできるもの 場 健康福祉課 ☎372-6375

**白根地区公民館** ☎372-5533

**おとなの花遊び(フラワーアレンジメント)**

回 ①2月8日(月)②3月8日(月)全2回  
 午後1時半~3時 場 白根学習館  
 内容 ①ミモザを使った春一番の黄色を楽しむアレンジ②バラやカーネーションを使った優しい色のアレンジ  
 内容 15人※応募多数の場合は抽選  
 費用 各回1,500円(材料費)  
 持ち物 花ばさみ、筆記用具  
 回 1月31日(日)までに白根地区公民館

**相談**

**弁護士の無料法律相談**

回 2月10・24日(水)午後1時15分~4時15分 場 南区役所  
 内容 土地、金銭貸借、保証、債務、離婚、認知など法律についての相談  
 内容 先着6人※1人30分 回 1月19日(火)以降に区民生活課 ☎372-6105

掲載を希望する場合は、2月21日号は1月26日(火)まで、3月7日号は2月8日(月)までに、掲載依頼票を提出してください(FAX可)。依頼票は南区役所ホームページ(本紙表紙参照)でダウンロードすることができます。※掲載は原則1回のみ

●新潟いのちの電話市民公開講座  
津軽三味線とトーク

回 2月6日(土)午後1時半~3時半  
 場 新潟ユニゾンプラザ  
 内容 三味線奏者の史佳さんが鬱から回復した過程について三味線演奏を交えながら語ります  
 内容 先着200人  
 回 2月3日(水)までに電話またはFAXで新潟いのちの電話事務局 ☎280-5677 (FAXも同じ)

●(公財)新潟県女性財団 ☎285-6610  
新潟県女性センター(新潟ユニゾンプラザ内)

回 電話またはFAX(285-6630)で同財団  
**育休ママの職場復帰準備セミナー**  
 回 1月27日、2月3日・17日(水)全3回  
 午前10時~正午  
 内容 職場復帰の不安や悩みを解消し、スムーズな職場復帰を迎えましょう  
 内容 育休中で職場復帰の準備をしている女性 先着16人  
 費用 3,000円

パパ向け「妻が育休後、職場復帰します」

回 2月14日(日)午後1時半~3時半  
 内容 先輩ママとパパの体験談を通して、復帰後の生活を考える  
 内容 先着8人※妻が職場復帰を予定しているまたは妻が現在産後休暇や育児休暇を取得している男性  
 ※保育あり。保育協力金子ども1人200円。希望者は1月31日(日)までに申し込み

**南区役所だよりに広告を載せませんか**

募集する号 令和3年4月~令和4年3月(毎月2回 第1・第3日曜日に発行)  
 対象 南区内に店舗や事務所がある事業所(掲載不可の業種あり)  
 広告掲載料 1枠1回 4,000円(税込)  
 回 2月26日(金)までに所定の申込書を地域総務課に提出  
 場 同課 ☎372-6621



詳しくはこちら

**まちの話題**

**白根のまちなかにサインを整備**

「しろね大風タウンガイド」の皆さんが行ってきたサイン設置がついに完成し、12月6日にお披露目セレモニーが行われました。この取り組みには3年の歳月が掛けられ、調査したまちの見どころから42カ所を絞り込み、サインのデザインにも試行錯誤を重ねてきました。

サインには貴重な写真や興味深い逸話が掲載され、ガイドがいなくてもまち歩きを楽しむことができるようになっていきます。

ガイドの会の高橋会長は「サインを設置する場所の地権者など、多くの人に支えられ完成することができた。地元の人からまちなかの魅力を知ってもらい、遠来者へのアピールと交流を進めてもらいたい」と語りました。



**庄瀬地域**

**「食べる・しゃべる・笑う元気弁当事業」**

庄瀬地域コミュニティ協議会と地域内の医療・福祉施設が協働し「口腔ケア啓発パンフレット」を作成し、地域内全世帯に配布しました。また、歯科医と管理栄養士の協力を得て、歯と口の健康に良い食材を使ったお弁当を「しなのがわ工房ままや」が調理し、12月5日にテイクアウトによる試食会を実施しました。地域の皆さんからは「口腔ケアの大切さを考える機会になった」「おいしいお弁当だった」などの感想が寄せられました。同協議会では、今後も地域の茶の間や小学校などで口腔ケアに取り組んでいくということです。



**月漏でランタンフェス**

12月27日に月漏小学校で「スカイランタン」を夜空に打ち上げる「月空ランタンフェス」が行われました。新型コロナウイルスの影響でさまざまな行事が中止となる中、月漏商工会青年部が子どもたちや地域の皆さんに希望や願いを持ってもらいたいとの思いから企画しました。当日は2部制にするなど、感染拡大防止に努めながら実施。家族で参加した月漏小2年生の女子児童は「夜空に上がりとてもきれいだ。上手に上げられて楽しかった」と話してくれました。



《広告欄》